

旅情

「今月の言葉」今年の連休は全部晴れ！里帰り日和だが、息子娘そして孫たちは皆、この日をあえて避け、息子たちは連休前に、娘たちは連休後にそれぞれ里帰り、車を使わず電車で来た。行き帰り余裕を持って帰ったようだ。心情的に帰省の波にのり、何所かに出かけたい気持ちはあるが、いつも出かけてなくてよかったと思うほうだ。時間があればまた見たこともない場所へ出かけてみたい。…連休明けの週から、東京出張だった。一か所の場所を三日、しごととした。【文／表紙 遠藤節子】



【絶対の基本理念】 最終目標である「親亡き後の施設」建設に向け、新たな歩みを踏み出した私たちの絶対の基本理念として明文化し、支援の拠りどころと致します。

- 無私（私が、私がないこと）
- 愛（大切に作る心、思いやる心）
- 内省（深く自分をかえりみること）

5

月号

2010年5月15日発行
VOL.12 NO.5
(通巻114)

おりーぶ後援会総会開催

TSK おりいぶ人



社会福祉法人 ^{あいとく} 愛篤福祉会・^{おりーぶ} 工房阿列布
〒973-8407 いわき市内郷宮町峰根 65-187
TEL.0246-36-3944 FAX.0246-36-3922
e-mail : olive-f@amber.plala.or.jp



終の棲家 遠藤節子（工房阿列布管理者）

先日、私は老人ホームを訪ねた。このホームだけでも入居待ちの人は200人以上もいる、本当でしょうか？

車で走ると、よく出会うあちこちの介護車、その多さに驚く。つまり自宅で介護を受けている人も多いということだろう。それ故、老人ホームに入れる人は幸せだという声もある。

お年を召した方々のお顔を拝見し「すべての人間は他人の中に鏡をもっている」ということを感じて帰ってきた。

「あれは生きている状態だったのか」「生かされている状態なのか」「生きて死んでいるのか」遠くを見つめるお年寄りの眼差しは「未来の私の姿」を思え込んできました。

悲しいかな、社会はどこから改善、目覚め、気付きをすればよいのか、よい社会はあったのか、タイムマシーンに乗って見たい。

産業、ハイテクは人間の五感を封鎖するが如くの勢いで発展した。克服のターゲットは「苦しいこと」「辛いこと」

「嫌なこと」「徒勞」などマイナスからの脱却である。日本の英知は、両刃の剣を思わせるイノベーションであった。結果、人間の五感の域に侵入した利便性は何を失うことになったのでしょうか。

人々のバランス感覚が崩れたという実感です。バランスとは両方の天秤棒が一定になることではなく、均衡を保つのに揺らぎを調整する感覚です。支点は「命」揺らぎは「生き方」とも考えられるでしょう。悲しいかな、お年寄りの姿を見て日本のやってきたことをつらつら考えてしまった。「無気力な人の目・姿」は本当に悲しい光景です。こうなるために人は生まれてきたわけではない。それでもここに入れるだけ「幸せな」のよという。なぜなら、待機者は200人以上いるというから驚きだ。

この私もまだ感覚があるうちに「最後の施設」をどのように創るか、一生懸命考えたと思います。

次は仙台の施設見学です。

TSK
おりいぶ人
1部 ¥100
(会員は会費に含む)

毎月15日発行
編集者 〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町峰根65-187
社会福祉法人愛篤福祉会 工房阿列布
発行所 〒981-0907
宮城県仙台市青葉区高松1-4-10
東北障害者団体定期刊行物協会

おりいぶ1号館 〒970-1151 いわき市好間町下好間字鬼越24-10 TEL.0246-36-3976 FAX.0246-36-3986
茶房おりいぶ 〒970-8026 いわき市平字中町7-2 TEL.FAX.0246-25-3977

おりいぶ後援会は、工房 阿列布を市民の立場から物心両面で支援するボランティア団体です。

六月四日(金)のリニューアルオープンに向けて、急ピッチで作業を進めています。
 バラエティーに富んだ雑貨やソフトウェア、パンなどを販売するお店へ変わります。
 営業日や営業時間帯を変更したり、駐車場でバザーを開くなど、今まで以上に皆さまに足を運んでもらえるお店にしていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

中町リニューアルオープン



おりいぶ後援会総会



五月二日(日) 平成二十一年度のおりいぶ後援会総会が行なわれました。
 今回は、保護者会の解散を受けての新たなスタートとなる節目の総会となり、規約の改正や平成二十二年の事業計画、予算などを承認致しました。

収入明細

(単位円)

項目	平成21年度予算額	平成21年度決算額	備考
会費	1,500,000	1,335,000	法人2社、個人会員104名
寄付金	0	0	
雑収入	3,000	776	利息
事業収入	0	0	
繰越金	2,864,055	2,864,055	平成20年度からの繰越金
計	4,367,055	4,199,831	

支出明細

(単位円)

項目	内	訳	平成21年度予算額	平成21年度決算額	備考
事務費	通	信 費	20,000	5,800	切手、葉書
	会	議 費	15,000	2,853	総会
	交	際 費	50,000	22,700	香典謝礼
	事	務 費	50,000	36,840	事務経費、コピー、消耗品
	雑	費	20,000	51,890	郵便振替手数料、寄付金返金(法人に寄付)
小	計 ①		155,000	120,083	
事業費	研	修 費	0	0	
	工	房 阿列布	120,000	100,000	芋煮会、利用者発表会、クリスマス会
	工	房 阿列布	220,000	220,000	おりいぶ人印刷
	工	房 阿列布	1,000,000	50,000	新年会
	開	催事業経費	2,850,000	1,000,000	愛篤福祉会へ
	支	援 費	0	0	
物	品 購 入 費	0	0		
予	備 費	22,055	0		
小	計 ②		4,212,055	1,370,000	
合	計①+②		4,367,055	1,490,083	

※平成22年への繰越金 2,709,748円

会員の皆さまには、事務局より総会結果が送付されておりますのでご確認ください。
 なお、収支決算は左記のとおりとなります。

建設資金に 寄附をいただきました

おりいぶ後援会 会員の毛塚幸男様より、建設資金に役立ててほしいと十数万円の浄財を頂きました。
 目録の贈呈式は、おりいぶ後援会総会において行なわれ、後日おりいぶ後援会より建設資金特別会計へ入金されました。



テレビ取材

五月二十二日、福島県の広報番組「おしえて、うつくしま」の収録が阿列布を中心に行なわれました。
 今回は福島県が認定している「うつくしまエコリサイクル製品」を紹介する内容で、せっけんの「おりいぶ人」が選ばれました。
 また、使い終わったてんぷら油の提供や商品の購入者を代表して、おりいぶ後援会会員の山口智子さんにも取材協力をしていただき、ご家庭での使い方なども紹介されます。



リサイクルせっけん事業が紹介されます

6月6日(日)
 午後0時45分～午後1時



福島中央テレビ「おしえて、うつくしま」内に放映されます。

寄附者名簿 (物品寄附含む) 平成22年5月

園部初子様、菅野モト子様、高瀬勝皓様、足立久美子様、山口智子様、宇津節子様、曾根隆司様、鈴木美智子様、毛塚幸男様